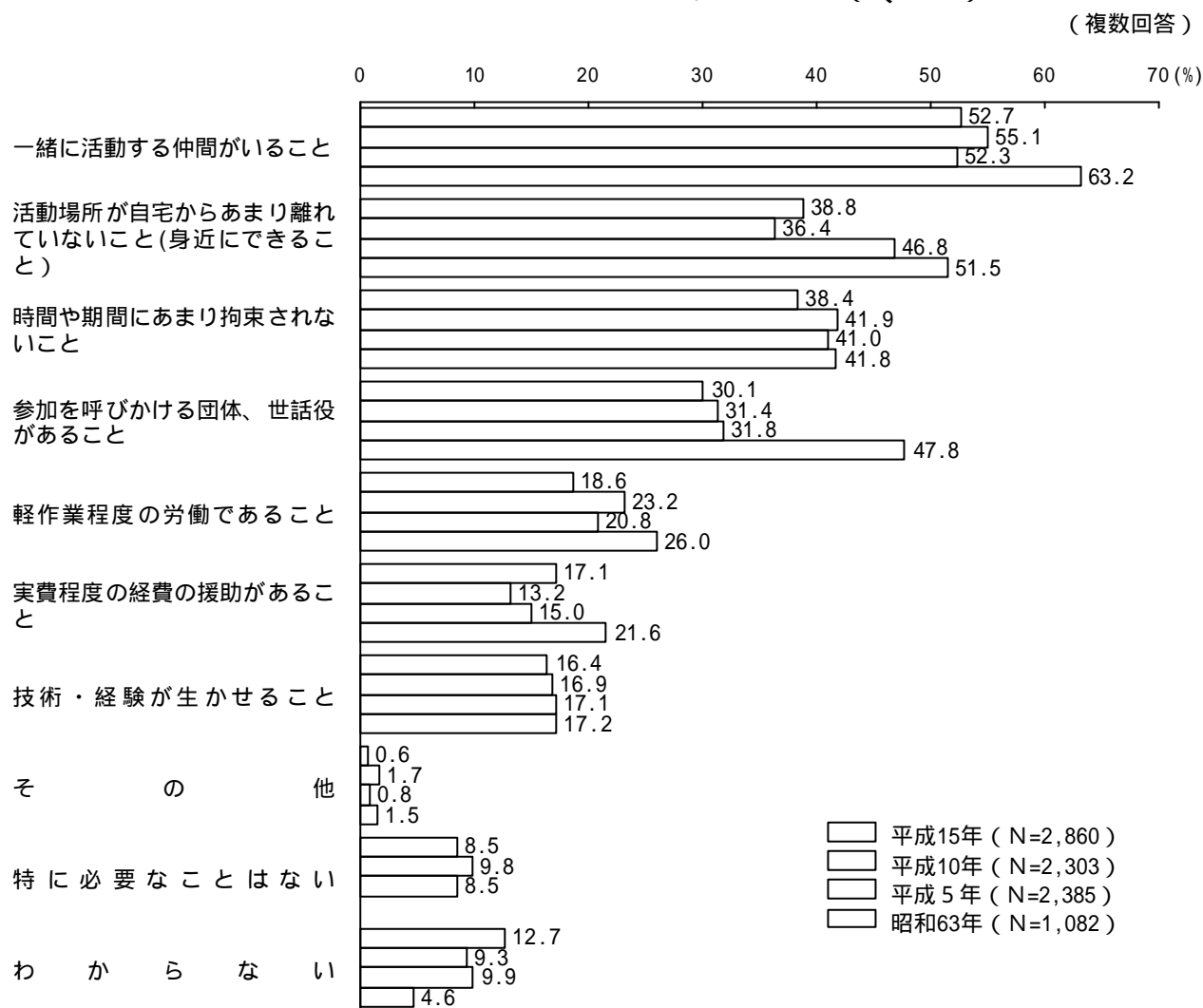


3 地域活動についての考え方に関する事項

(1) 地域のための活動を行う必要条件 (Q16a)

「地域のための奉仕的な活動を行うにあたって、実際に活動するのに必要な条件は何か」についてみると、「一緒に活動する仲間がいること」が 52.7%と最も高く、以下、「活動場所が自宅からあまり離れていないこと」38.8%、「時間や期間にあまり拘束されないこと」38.4%、「参加を呼びかける団体、世話役があること」30.1%、「軽作業程度の労働であること」18.6%、「実費程度の経費の援助があること」17.1%、「技術・経験が生かせること」16.4%等の順となっている。また、「わからない」は 12.7%となっている。

図 16 - a 地域のための活動を行う必要条件 (Q16a)



注1) 昭和63年は、「地域奉仕活動を今よりもっと盛んにする必要がある」と答えた人が対象。

注2) は調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。

性別にみると、「一緒に活動する仲間がいること」(男性 50.6%、女性 54.3%)、「活動場所が自宅からあまり離れていないこと」(男性 35.6%、女性 41.3%)は女性の割合が、「参加を呼びかける団体、世話役があること」(男性 33.0%、女性 27.8%)、「技術・経験が生かせること」(男性 21.9%、女性 12.1%)は男性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、「一緒に活動する仲間がいること」は年齢が低いほど割合が高く、「80歳以上」は 37.0%となっているが、「60~64歳」では 60.5%と 23.5ポイント高くなっている。

都市規模別にみると、「時間や期間にあまり拘束されないこと」は「大都市」で 44.8%と割合が高くなっている。

地域活動への参加意向についてみると、具体的に必要条件を挙げている項目で地域活動に「参加したい」で割合が高くなっている。

図 16 - a 地域のための活動を行う必要条件（Q16a）

（複数回答）

	総 数	が一緒 に活動 する仲 間	と体、 世を呼 びかけ るこ と	参加 がある こと	実費 程度 の経 費の 援	あ るこ と	軽 作 業 程 度 の 労 働 で	る技 術と ・経 験が 生か せ	拘束 時間 や期 間にあ まり	こ とあ まり 活動 場所 が自 宅な ら	そ の 他	い 特 に必 要な こと はな い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
昭和63年	1,082	63.2	47.8	21.6	26.0	17.2	41.8	51.5	1.5				4.5	275.1
平成5年	2,385	52.3	31.8	15.0	20.8	17.1	41.0	46.8	0.8	8.5			9.9	243.8
平成10年	2,303	55.1	31.4	13.2	23.2	16.9	41.9	36.4	1.7	9.8			9.3	239.0
総数	2,860	52.7	30.1	17.1	18.6	16.4	38.4	38.8	0.6	8.5			12.7	234.0
〔性〕														
男	1,251	50.6	33.0	18.9	20.4	21.9	39.9	35.6	0.7	8.8			9.3	239.1
女	1,609	54.3	27.8	15.6	17.3	12.1	37.2	41.3	0.6	8.3			15.4	230.0
〔年齢〕														
60～64歳	693	60.5	36.7	23.5	19.3	21.8	49.9	40.5	0.4	5.9			5.8	264.4
65～69歳	692	55.5	33.7	20.4	19.9	18.1	40.5	41.5	0.6	7.5			7.8	245.4
70～74歳	650	53.8	27.1	15.1	18.2	14.6	35.5	40.9	0.8	9.1			12.5	227.5
75～79歳	490	46.9	26.9	12.7	20.2	13.7	33.5	37.1	0.8	9.6			19.8	221.2
80歳以上	335	37.0	19.4	7.2	13.1	9.3	23.0	28.1	0.6	13.4			27.5	178.5
（うち85歳以上）	101	28.7	12.9	3.0	9.9	8.9	14.9	21.8	-	11.9			39.6	151.5
〔都市規模〕														
大都市	553	47.7	29.1	17.0	15.4	17.5	44.8	38.7	1.3	7.4			13.0	232.0
中都市	976	52.7	30.1	17.7	18.6	18.4	37.4	38.1	0.3	8.9			11.2	233.5
小都市	588	55.4	28.6	16.8	17.7	14.3	33.2	35.7	0.9	11.1			13.8	227.4
町村	743	54.2	31.9	16.4	21.8	14.5	39.0	42.3	0.4	6.9			13.7	241.2
〔Q10地域活動への参加意向〕														
参加したい	1,363	69.4	41.7	24.7	24.9	24.3	46.3	46.7	0.5	2.4			3.2	284.0
参加したいが事情があって参加できない	300	55.3	31.0	14.3	20.3	16.0	44.7	41.3	1.0	3.7			6.7	234.3
参加したくない	1,073	32.5	16.0	8.2	11.0	7.3	26.8	28.9	0.7	17.9			24.5	173.9
わからない	124	37.1	21.8	16.9	11.3	9.7	36.3	32.3	-	6.5			30.6	202.4

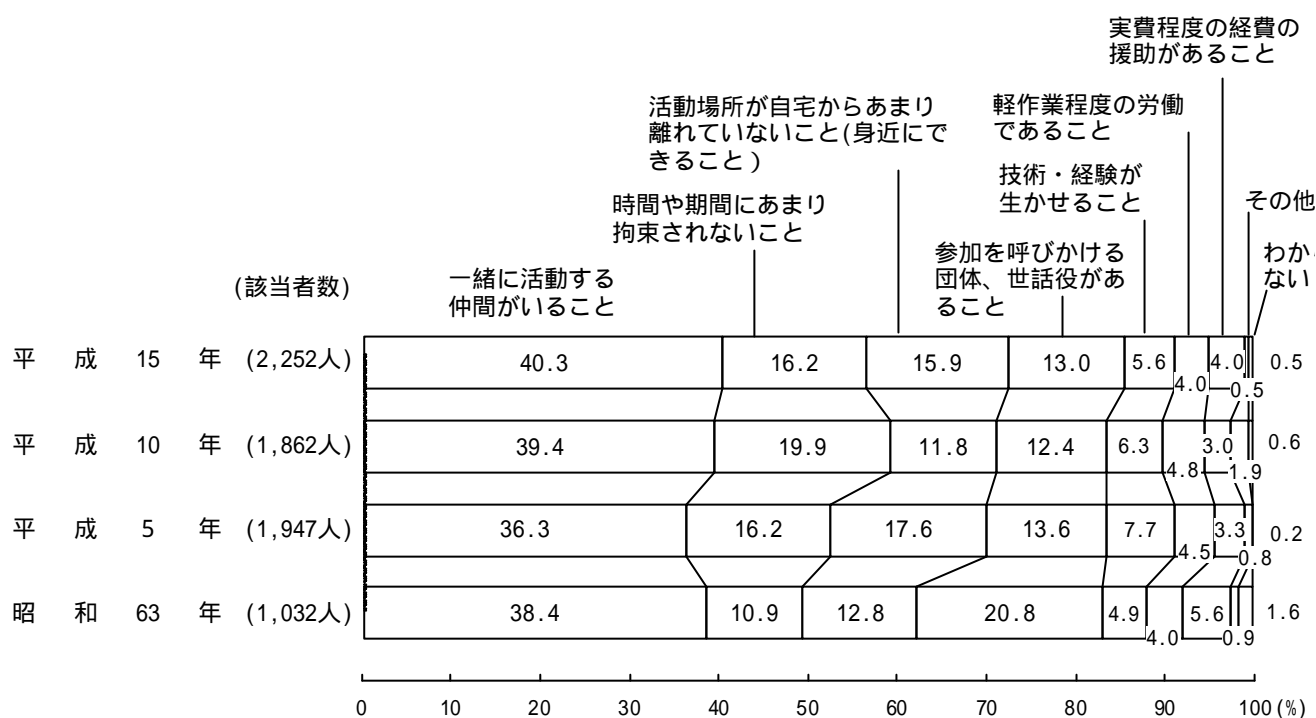
注1）昭和63年は、「地域奉仕活動を今よりもっと盛んにする必要がある」と答えた人が対象。

注2）は調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。

(2) 地域のための活動を行う最も必要な条件 (Q16 b)

「地域のための奉仕的な活動を行うにあたって、実際に活動するのに最も必要な条件は何か」についてみると、「一緒に活動する仲間がいること」が 40.3%と最も高く、以下、「時間や期間にあまり拘束されないこと」16.2%、「活動場所が自宅からあまり離れていないこと」15.9%、「参加を呼びかける団体、世話役があること」13.0%等の順となっている。

図 16 - b 地域のための活動を行う最も必要な条件 (Q16 b)



注) 昭和 63 年は、地域奉仕活動を今よりもっと盛んにする必要があると答えた人が対象。

性別にみると、「一緒に活動する仲間がいること」(男性 37.3%、女性 42.8%)、「活動場所が自宅からあまり離れていないこと」(男性 12.5%、女性 18.7%)は女性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、「時間や期間にあまり拘束されないこと」は年齢が低いほど割合が高くなっている。

都市規模別にみると、「一緒に活動する仲間がいること」は「大都市」で 35.0%と割合が低く、「時間や期間にあまり拘束されないこと」は「大都市」で 24.5%と割合が高くなっている。

地域活動への参加意向についてみると、「時間や期間にあまり拘束されないこと」は「参加したくない」で 21.2%と割合が高くなっている。

表 16 - b 地域のための活動を行う最も必要な条件（Q16b）

	該 当 者 数	が一緒に活動する仲間	と体、参加を呼びかける団体	実費程度のあること	あ軽作業程度の労働で	る技こ・経験が生かせ	拘時間され期間にあまり	こあ動場所が自宅ない	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
昭和 63 年	1,032	38.4	20.8	5.6	4.0	4.9	10.9	12.8	0.9	1.6
平成 5 年	1,947	36.3	13.6	3.3	4.5	7.7	16.2	17.6	0.8	0.2
平成 10 年	1,862	39.4	12.4	3.0	4.8	6.3	19.9	11.8	1.9	0.6
総 数	2,252	40.3	13.0	4.0	4.0	5.6	16.2	15.9	0.5	0.5
〔 性 〕										
男 性	1,025	37.3	14.2	4.6	4.7	8.5	17.2	12.5	0.7	0.4
女 性	1,227	42.8	11.9	3.5	3.5	3.3	15.3	18.7	0.4	0.7
〔 年 齢 〕										
60 ～ 64 歳	612	43.0	12.4	5.2	2.3	6.0	19.3	10.9	-	0.8
65 ～ 69 歳	586	37.9	13.3	4.8	3.4	7.2	15.7	16.7	0.5	0.5
70 ～ 74 歳	510	42.0	12.9	3.1	4.3	3.5	15.7	16.9	1.0	0.6
75 ～ 79 歳	346	38.2	13.3	2.6	5.2	5.5	14.2	20.2	0.9	-
80 歳 以 上	198	38.4	13.1	2.5	8.6	5.6	12.6	18.2	0.5	0.5
（ うち 85 歳 以 上 ）	49	36.7	12.2	2.0	12.2	6.1	10.2	18.4	-	2.0
〔 都 市 規 模 〕										
大 都 市	440	35.0	11.8	3.4	2.7	5.7	24.5	15.2	1.1	0.5
中 都 市	780	41.4	11.0	5.1	4.1	7.1	14.2	16.4	0.3	0.4
小 都 市	442	44.6	15.4	3.8	4.1	4.3	12.4	14.5	0.7	0.2
町 村	590	39.5	14.6	3.1	4.9	4.7	15.3	16.6	0.3	1.0
〔 Q10地域活動への参加意向 〕										
参 加 し た い	1,287	43.7	14.1	5.1	3.6	6.4	12.4	13.9	0.4	0.4
参 加 し た い が 事 情 が あ っ て 参 加 で き な い	269	38.3	10.8	2.6	4.8	4.8	19.7	17.5	1.1	0.4
参 加 し た く な い	618	35.6	11.7	2.4	4.7	4.5	21.2	18.4	0.6	0.8
わ か ら な い	78	26.9	12.8	2.6	3.8	3.8	26.9	21.8	-	1.3

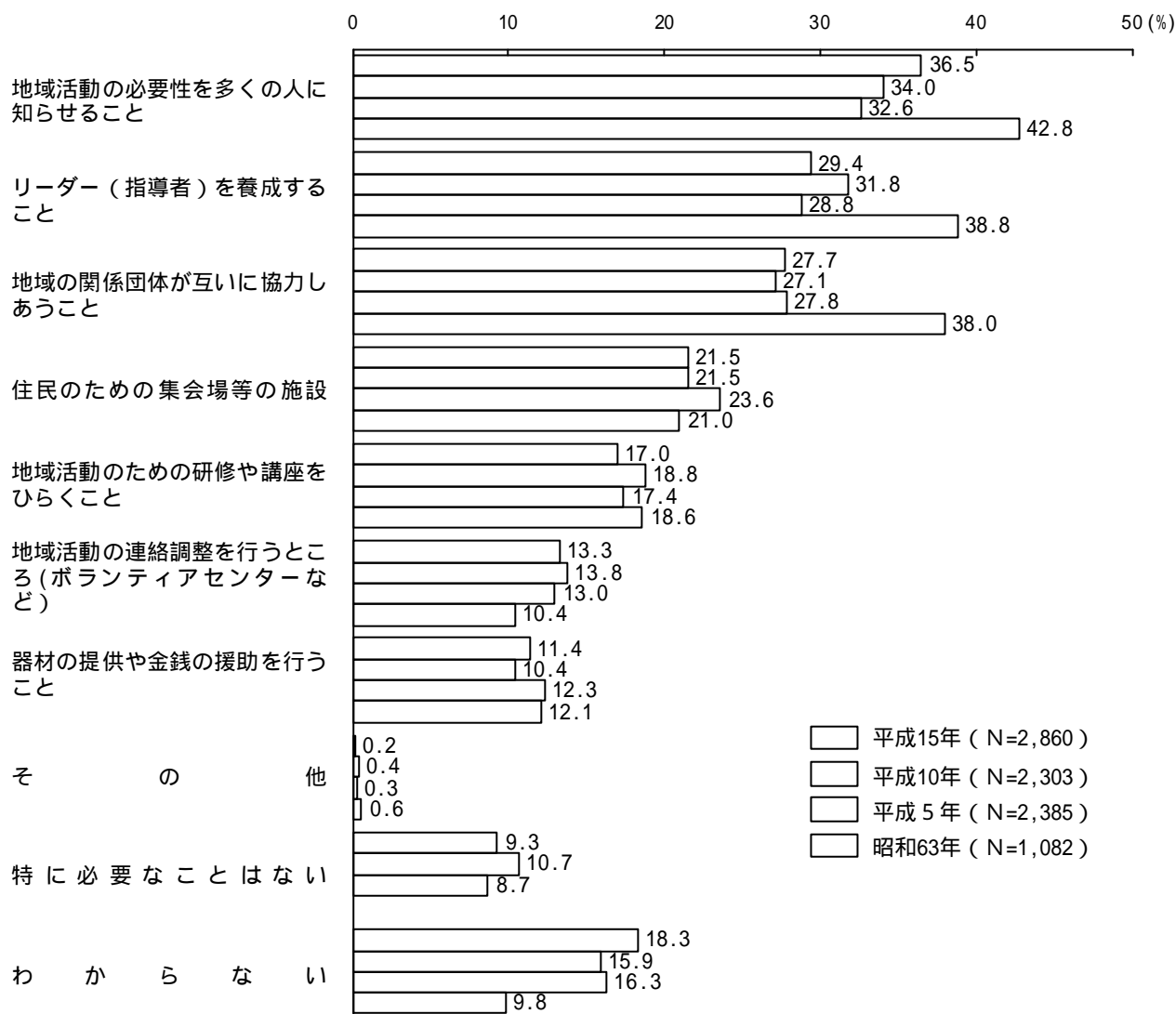
注）昭和63年は，地域奉仕活動を今よりもっと盛んにする必要があると答えた人が対象。

(3) 地域のための活動を盛んにする必要な社会的整備 (Q17)

「地域のための奉仕的な活動を盛んにするためには、一般的にどのようなことを社会的に整備する必要があると思うか」についてみると、「地域活動の必要性を多くの人に知らせること」が36.5%と最も高く、以下、「リーダー（指導者）を養成すること」29.4%、「地域の関係団体が互いに協力しあうこと」27.7%、「住民のための集会場等の施設」21.5%、「地域活動のための研修や講座をひらくこと」17.0%、「地域活動の連絡調整を行うこと」13.3%、「器材の提供や金銭の援助を行うこと」11.4%等の順となっている。

図 17 地域のための活動を盛んにする必要な社会的整備 (Q17)

(複数回答)



注1) 昭和63年は、地域奉仕活動を今よりもっと盛んにする必要があると答えた人が対象。

注2) は調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。

性別にみると、「地域活動の必要性を多くの人に知らせること」（男性 40.5%、女性 33.4%）、「リーダー（指導者）を養成すること」（男性 33.3%、女性 26.4%）は男性の割合が高く、「わからない」（男性 13.0%、女性 22.4%）は女性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、具体的に必要な社会整備を挙げている項目では、「60～64歳」で割合が高くなっている。

都市規模別にみると、「地域活動の必要性を多くの人に知らせること」は「大都市」で40.1%と割合が高くなっている。

表 17 地域のための活動を盛んにする必要な社会的整備（Q17）

（複数回答）

	総 数	こ と 多 く の 地 域 の 活 動 に の 知 ら せ る を	リ ー ダ ー （ 指 導 者 ） を 養 成 す る こ と	地 域 の 関 係 団 体 が 互 に 協 力 し あ う こ と	住 民 の た め の 集 会 場 の 施 設	と 修 や 講 座 を の た め の こ 研	地 域 活 動 の ひ ら く の こ 研	を 地 域 活 動 の 連 絡 調 整	援 器 材 の 提 供 や 金 銭 の	そ の 他	い 特 に 必 要 な こ と は な	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
昭 和 63 年	1,082	42.8	38.8	38.0	21.0	18.6	10.4	12.1	0.6			9.8	192.0
平 成 5 年	2,385	32.6	28.8	27.8	23.6	17.4	13.0	12.3	0.3		8.7	16.3	180.6
平 成 10 年	2,303	34.0	31.8	27.1	21.5	18.8	13.8	10.4	0.4		10.7	15.9	184.4
総 数	2,860	36.5	29.4	27.7	21.5	17.0	13.3	11.4	0.2		9.3	18.3	184.5
〔 性 別 〕													
男 性	1,251	40.5	33.3	29.2	22.1	18.3	12.5	12.9	0.2		9.4	13.0	191.4
女 性	1,609	33.4	26.4	26.6	21.0	16.0	13.9	10.2	0.2		9.1	22.4	179.2
〔 年 齢 〕													
60 ～ 64 歳	693	43.9	34.8	33.8	27.1	20.6	17.3	14.4	0.3		5.9	10.2	208.4
65 ～ 69 歳	692	42.3	32.2	28.2	23.4	20.4	15.5	14.0	0.3		8.7	11.3	196.2
70 ～ 74 歳	650	33.7	29.2	26.8	18.5	14.9	11.5	10.5	0.5		10.9	18.0	174.5
75 ～ 79 歳	490	31.8	23.3	26.7	19.8	14.7	10.6	8.2	-		10.2	28.4	173.7
80 歳 以 上	335	21.8	21.5	17.6	14.0	9.9	7.8	6.0	-		12.8	35.2	146.6
（ う ち 85 歳 以 上 ）	101	14.9	13.9	14.9	7.9	5.0	7.9	5.9	-		12.9	46.5	129.7
〔 都 市 規 模 〕													
大 都 市	553	40.1	26.6	25.9	20.4	15.6	14.8	10.8	0.2		7.2	18.6	180.3
中 都 市	976	34.6	31.7	26.6	23.1	17.9	14.4	10.8	0.3		8.2	17.5	185.1
小 都 市	588	34.9	28.1	28.7	17.5	15.1	10.0	11.4	0.3		14.5	17.5	178.1
町 村	743	37.7	29.5	29.7	23.3	18.3	13.2	12.5	0.1		8.1	19.7	192.1
〔 経 済 的 な 暮 し 向 き 〕													
心 配 な い （ 小 計 ）	2,253	38.8	31.4	29.2	22.8	18.2	13.9	11.3	0.2		9.0	15.3	190.1
ゆとりがあり心配ない	539	40.6	32.3	29.3	24.3	19.7	15.0	12.8	-		7.6	15.0	196.7
ゆとりはないが心配ない	1,714	38.3	31.2	29.2	22.3	17.7	13.6	10.8	0.2		9.5	15.3	188.0
心 配 （ 小 計 ）	560	29.8	22.9	22.9	17.5	13.6	11.4	12.7	0.5		10.0	27.0	168.2
ゆとりがなく多少心配	438	29.5	22.4	22.8	17.1	13.9	11.2	11.6	0.7		9.8	26.0	165.1
家計が苦しく非常に心配	122	31.1	24.6	23.0	18.9	12.3	12.3	16.4	-		10.7	30.3	179.5
わ か ら な い	47	6.4	8.5	12.8	6.4	2.1	4.3	-	-		12.8	59.6	112.8

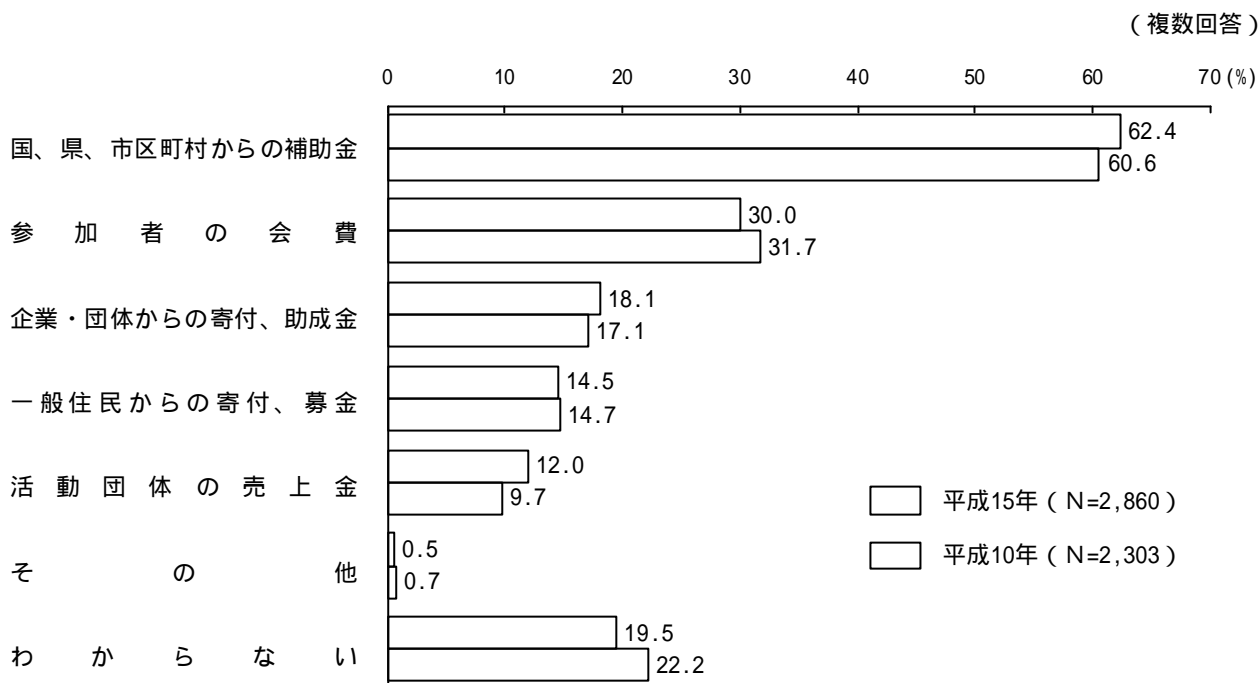
注 1) 昭和63年は、地域奉仕活動を今よりもっと盛んにする必要があると答えた人が対象。

注 2) は調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。

(4) 地域のための活動を運営する活動資金の確保 (Q18 a)

「地域のための奉仕的な活動を運営するにあたり、活動資金はどのように確保するのが望ましいと思うか」についてみると、「国、県、市区町村からの補助金」が 62.4%と最も高く、以下、「参加者の会費」30.0%、「企業・団体からの寄付、助成金」18.1%、「一般住民からの寄付、募金」14.5%、「活動団体の売上金」12.0%等の順となっている。なお、「わからない」は 19.5%となっている。

図 18 - a 地域のための活動を運営する活動資金の確保 (Q18 a)



性別にみると、「国、県、市区町村からの補助金」(男性 65.7% , 女性 59.9%) , 「参加者の会費」(男性 34.9% , 女性 26.2%) , 「企業・団体からの寄付、助成金」(男性 20.4% , 女性 16.3%) , 「一般住民からの寄付、募金」(男性 16.7% , 女性 12.8%) は男性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、「国、県、市区町村からの補助金」, 「企業・団体からの寄付、助成金」は年齢が低いほど割合が高くなっている。

都市規模別にみると、「企業・団体からの寄付、助成金」は「大都市」で 22.4%と割合が高くなっている。

最長職業別にみると、「参加者の会費」は「会社などの役員」で 40.0%と割合が高くなっている。

表 18 - a 地域のための活動を運営する活動資金の確保 (Q18 a)

(複数回答)

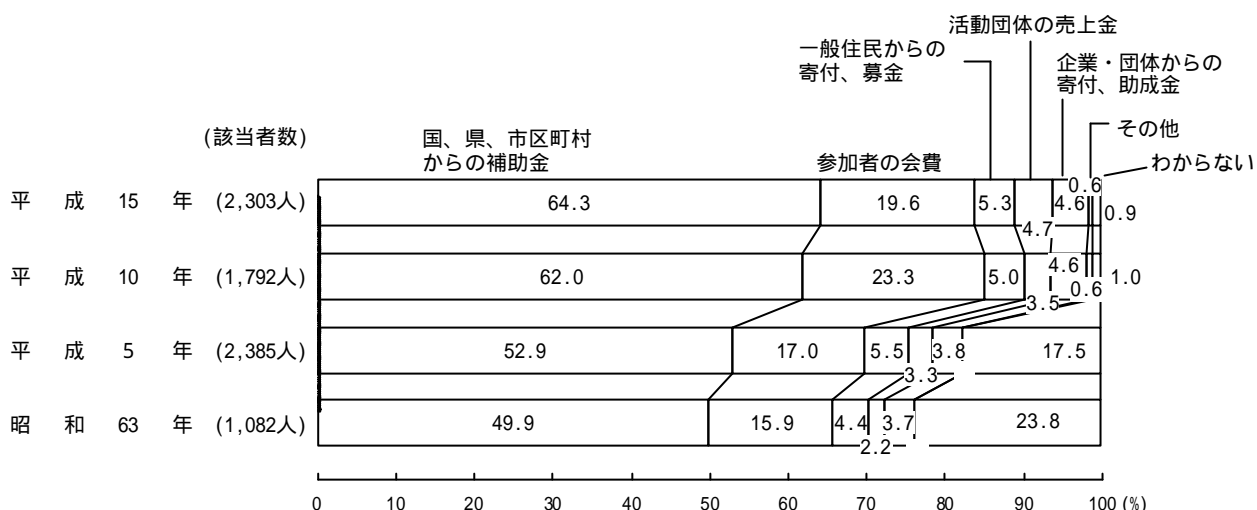
	総 数	参 加 者 の 会 費	活 動 団 体 の 売 上 金	付、 一 般 住 民 か ら の 寄 募 金	付、 企 業 ・ 団 体 か ら の 寄 助 成 金	ら、 国、 県、 市 区 町 村 か ら の 補 助 金	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 10 年	2,303	31.7	9.7	14.7	17.1	60.6	0.7	22.2	156.2
総 数	2,860	30.0	12.0	14.5	18.1	62.4	0.5	19.5	157.1
〔 性 別 〕									
男 性	1,251	34.9	11.0	16.7	20.4	65.7	0.6	13.3	162.6
女 性	1,609	26.2	12.8	12.8	16.3	59.9	0.5	24.2	152.8
〔 年 齢 〕									
60 ～ 64 歳	693	32.2	14.4	16.6	21.6	68.1	0.4	13.6	167.0
65 ～ 69 歳	692	30.9	15.2	14.7	20.8	67.3	0.1	14.6	163.7
70 ～ 74 歳	650	28.2	11.4	13.4	17.4	64.5	0.8	18.8	154.3
75 ～ 79 歳	490	32.4	8.8	14.1	14.3	54.3	0.8	25.5	150.2
80 歳 以 上	335	23.6	6.6	12.5	11.9	48.7	0.6	34.3	138.2
(う ち 85 歳 以 上)	101	19.8	5.0	6.9	9.9	41.6	-	43.6	126.7
〔 都 市 規 模 〕									
大 都 市	553	32.5	12.7	16.5	22.4	60.2	0.2	17.2	161.7
中 都 市	976	25.9	12.1	16.2	19.4	63.6	0.7	17.6	155.5
小 都 市	588	33.0	13.1	12.1	14.1	60.9	0.2	22.4	155.8
町 村	743	31.1	10.6	12.8	16.3	63.8	0.8	21.3	156.7
〔 最 長 職 業 〕									
農林漁業 (家族従業者を含む)	379	25.1	9.0	9.5	12.1	61.7	1.1	26.1	144.6
自営業主 (商工サービス業・自由業 (家族従業者を含む) など)	511	32.5	13.7	15.3	17.4	62.2	0.2	16.8	158.1
雇われている人 (常 勤)	1,252	31.9	12.0	15.7	20.5	65.7	0.6	16.0	162.3
雇われている人 (臨 時 ・ パ ー ト)	211	21.8	16.1	16.6	18.5	62.1	-	21.8	156.9
会 社 な ど の 役 員	70	40.0	10.0	20.0	21.4	62.9	1.4	11.4	167.1
そ の 他 の 仕 事	42	45.2	9.5	9.5	23.8	57.1	-	7.1	152.4
専 業 主 婦	332	28.0	10.5	12.0	15.4	56.9	0.6	26.2	149.7
仕 事 は し て い な い	62	16.1	16.1	19.4	16.1	37.1	-	45.2	150.0

(5) 地域のための活動を運営するための最も望ましい活動資金の確保 (Q18 b)

「地域のための奉仕的な活動を運営するにあたり、活動資金はどのように確保するのが最も望ましいと思うか」(活動資金の確保についてわからないと答えた人を除く)についてみると、「国、県、市区町村からの補助金」が 64.3%と最も高く 6 割を超え、次いで、「参加者の会費」19.6%、「一般住民からの寄付、募金」5.3%、「活動団体の売上金」4.7%、「企業・団体からの寄付、助成金」4.6%等の順となっている。

前 3 回の調査と比較すると、「国、県、市区町村からの補助金」は増加傾向となっている。

図 18 - b 地域のための活動を運営するための最も望ましい活動資金の確保 (Q18 b)



注1) 昭和63年は、地域奉仕活動を今よりもっと盛んにする必要があると答えた人が対象。

注2) は調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。

都市規模別にみると、「国、県、市区町村からの補助金」は「大都市」(59.2%) で割合が低く、「町村」(67.9%) で高くなっている。

最長職業別にみると、「国、県、市区町村からの補助金」は「農林漁業 (家族従業者を含む) 」で 70.7% と 7 割を超え割合が高くなっている。

表 18 - b 地域のための活動を運営するための最も望ましい活動資金の確保(Q18b)

	該 当 者 数	参 加 者 の 会 費	活 動 団 体 の 売 上 金	付 一 般 住 民 か ら の 寄 金	企 業 ・ 団 体 か ら の 寄 付 ・ 助 成 金	国、 都、 市、 区、 町、 村 の 補 助 金	そ の 他	わ か ら な い
昭和63年	人	%	%	%	%	%	%	%
平成5年	1,082	15.9	2.2	4.4	3.7	49.9		23.8
平成10年	2,385	17.0	3.3	5.5	3.8	52.9		17.5
	1,792	23.3	3.5	5.0	4.6	62.0	0.6	1.0
総数	2,303	19.6	4.7	5.3	4.6	64.3	0.6	0.9
〔性別〕								
男性	1,084	21.1	3.3	6.6	5.0	62.2	0.6	1.2
女性	1,219	18.3	5.9	4.2	4.3	66.1	0.6	0.7
〔年齢〕								
60～64歳	599	17.7	4.2	4.7	4.7	67.4	0.5	0.8
65～69歳	591	20.3	5.2	3.9	4.2	65.3	0.2	0.8
70～74歳	528	18.2	4.5	4.9	4.2	66.3	0.8	1.1
75～79歳	365	24.1	4.9	6.8	4.9	57.0	0.8	1.4
80歳以上	220	19.1	4.5	9.5	5.9	60.0	0.9	-
(うち85歳以上)	57	22.8	5.3	5.3	8.8	57.9	-	-
〔都市規模〕								
大都市	458	22.3	4.1	6.6	6.6	59.2	0.2	1.1
中都市	804	16.5	6.0	5.5	5.7	64.8	0.9	0.6
小都市	456	22.1	4.8	4.8	2.6	63.8	0.2	1.5
町	585	19.8	3.2	4.6	3.1	67.9	0.7	0.7
〔最長職業〕								
農林漁業(家族従業者を含む)	280	18.9	2.9	3.6	1.1	70.7	1.4	1.4
自営業主(商工サービス業・自由業(家族従業者を含む)など)	425	21.6	5.4	4.9	5.4	60.9	-	1.6
雇われている人(常勤)	1052	18.9	4.5	5.4	4.8	64.9	0.6	0.9
雇われている人(臨時・パート)	165	14.5	7.3	7.3	3.0	67.3	-	0.6
会社などの役員	62	24.2	3.2	4.8	9.7	56.5	1.6	-
その他の仕事	39	30.8	2.6	7.7	12.8	46.2	-	-
専業主婦	245	20.8	4.1	5.3	3.7	65.3	0.8	-
仕事はしていない	34	14.7	14.7	11.8	11.8	47.1	-	-

注1) Q18aで、わからないと答えた人以外が対象。

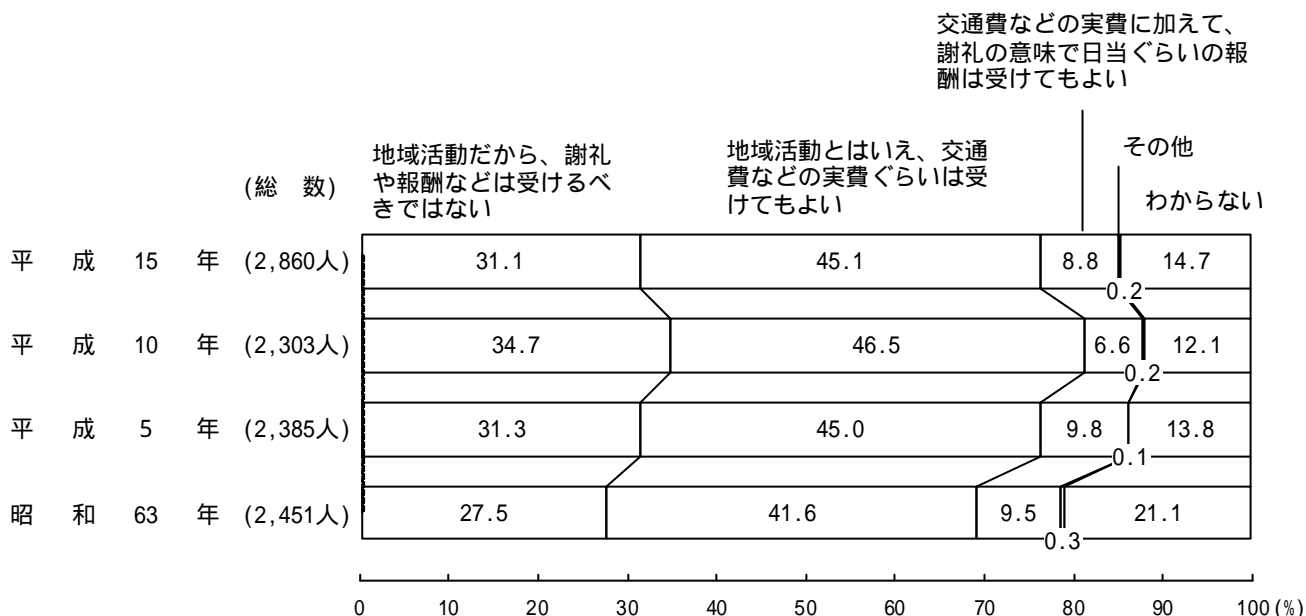
注2) 昭和63年は、地域奉仕活動を今よりもっと盛んにする必要があると答えた人が対象。

注3) は調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。

(6) 地域のための活動の報酬に対する考え方 (Q 19)

「地域のための奉仕的な活動の報酬についての考え方」についてみると、「地域活動とはいえ、交通費などの実費ぐらいいは受けてもよい」が 45.1%と最も高く、以下、「地域活動だから、謝礼や報酬などは受けるべきではない」31.1%、「交通費などの実費に加えて、謝礼の意味で日当ぐらいいの報酬は受けてもよい」8.8%等の順となっている。なお、「わからない」は 14.7%となっている。

図 19 地域のための活動の報酬に対する考え方 (Q 19)



年齢階級別にみると、「交通費などの実費ぐらいいは受けてもよい」は 65～69 歳で 50.4%と割合が高くなっている。

都市規模別にみると、「地域活動だから 謝礼や報酬などは受けるべきではない」は「小都市」(39.5%)で、「交通費などの実費ぐらいいは受けてもよい」は「大都市」(49.2%)で割合が高くなっている。

地域活動への参加意向についてみると、「交通費などの実費ぐらいいは受けてもよい」は地域活動へ「参加したい」で 51.9%と割合が高くなっている。

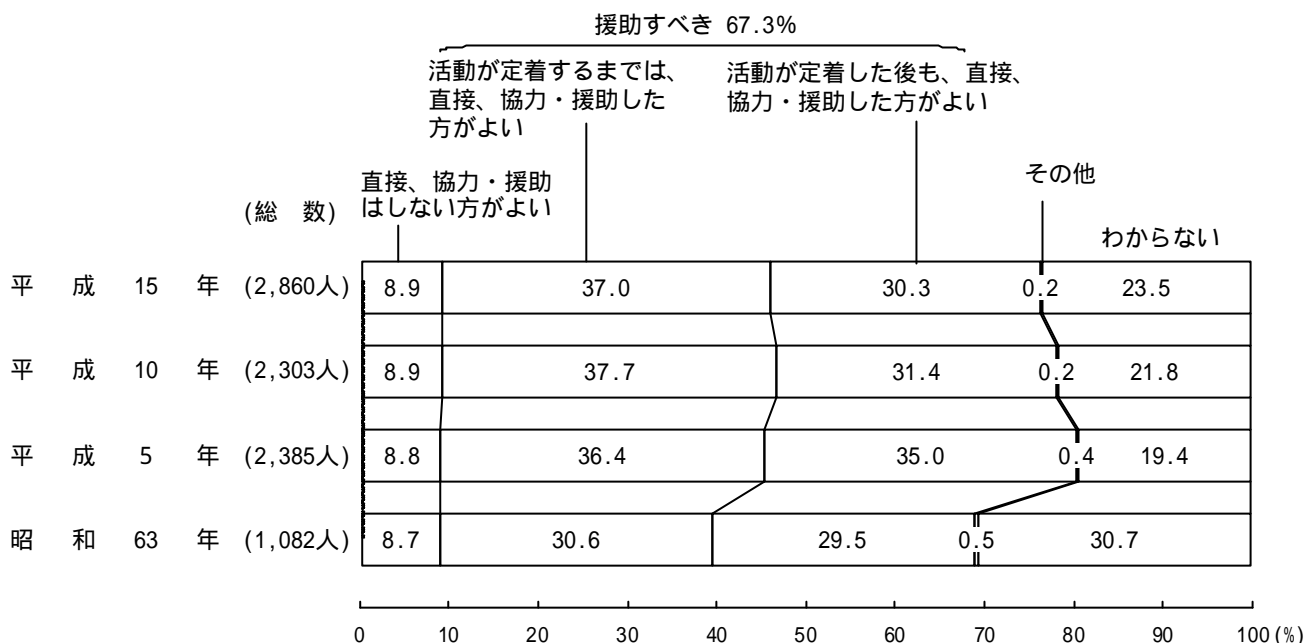
表 19 地域のための活動の報酬に対する考え方（Q19）

	総 数	る礼地 べきや域 報酬活動 などはだ いはから 受け謝	ら交地 い通域 は費活動 受な動と けてのは も実いえ よい費え いぐ	はで加交 受日え通 け当て費 てもぐ、 よい謝の いの礼の 報意費 酬味に	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
昭和 63 年	2,451	27.5	41.6	9.5	0.3	21.1
平成 5 年	2,385	31.3	45.0	9.8	0.1	13.8
平成 10 年	2,303	34.7	46.5	6.6	0.2	12.1
総 数	2,860	31.1	45.1	8.8	0.2	14.7
〔 性 〕						
男 性	1,251	33.3	45.8	9.4	0.4	11.1
女 性	1,609	29.4	44.6	8.4	0.1	17.5
〔 年 齢 〕						
60 ～ 64 歳	693	34.6	49.1	7.9	0.3	8.1
65 ～ 69 歳	692	28.5	50.4	11.6	0.1	9.4
70 ～ 74 歳	650	31.2	44.6	8.8	-	15.4
75 ～ 79 歳	490	31.2	41.0	6.9	0.8	20.0
80 歳 以 上	335	28.7	32.8	8.1	-	30.4
（ う ち 85 歳 以 上 ）	101	23.8	25.7	8.9	-	41.6
〔 都 市 規 模 〕						
大 都 市	553	30.9	49.2	8.9	0.2	10.8
中 都 市	976	28.4	47.8	10.2	0.2	13.3
小 都 市	588	39.5	38.6	7.1	0.2	14.6
町 村	743	28.1	43.6	8.3	0.4	19.5
〔 Q10地域活動への参加意向 〕						
参 加 し た い	1,363	33.3	51.9	8.6	0.1	6.1
参 加 し た い が 事 情 が	300	30.7	47.7	12.3	0.3	9.0
あ っ て 参 加 で き な い	1,073	29.0	37.1	8.6	0.4	25.0
参 加 し た く な い						
わ か ら な い	124	25.8	33.9	5.6	-	34.7

(7) 高齢者による地域のための活動への国や地方公共団体のかかわり方 (Q20)

「高齢者による地域のための奉仕的な活動に対して、国や地方公共団体が、どのようにかわるのがよいと思うか」についてみると、「活動が定着するまでは、直接、協力・援助した方がよい」が 37.0%、「活動が定着した後も、直接、協力・援助した方がよい」が 30.3%となっており、両方を合わせた『援助すべき』が 67.3%となっている。一方、「直接、協力・援助はしない方がよい」は 8.9%と 1 割を切っている。なお、「わからない」は 23.5%となっている。

図 20 高齢者による地域のための活動への国や地方公共団体のかかわり方 (Q20)



性別にみると、『援助すべき』(男性 71.6%、女性 64.0%)は男性の割合が高くなっており、また、「わからない」(男性 17.2%、女性 28.5%)は女性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、『援助すべき』は年齢が低いほど割合が高くなっている。

都市規模別にみると、「直接、協力・援助はしない方がよい」は都市規模が大きいほど割合が高く、「町村」では 7.0%となっているが、「大都市」では 13.2%となっている。

健康状態別にみると、『援助すべき』は健康状態が良いほど割合が高く、「良くない」で 40.8%となっているが、「良い」では 75.2%となっている。また、「わからない」は健康状態が良くないほど高く、「良い」で 15.3%となっているが、「良くない」では 51.5%と半数を超えている。

表 20 高齢者による地域のための活動への国や地方公共団体のかかわり方(Q20)

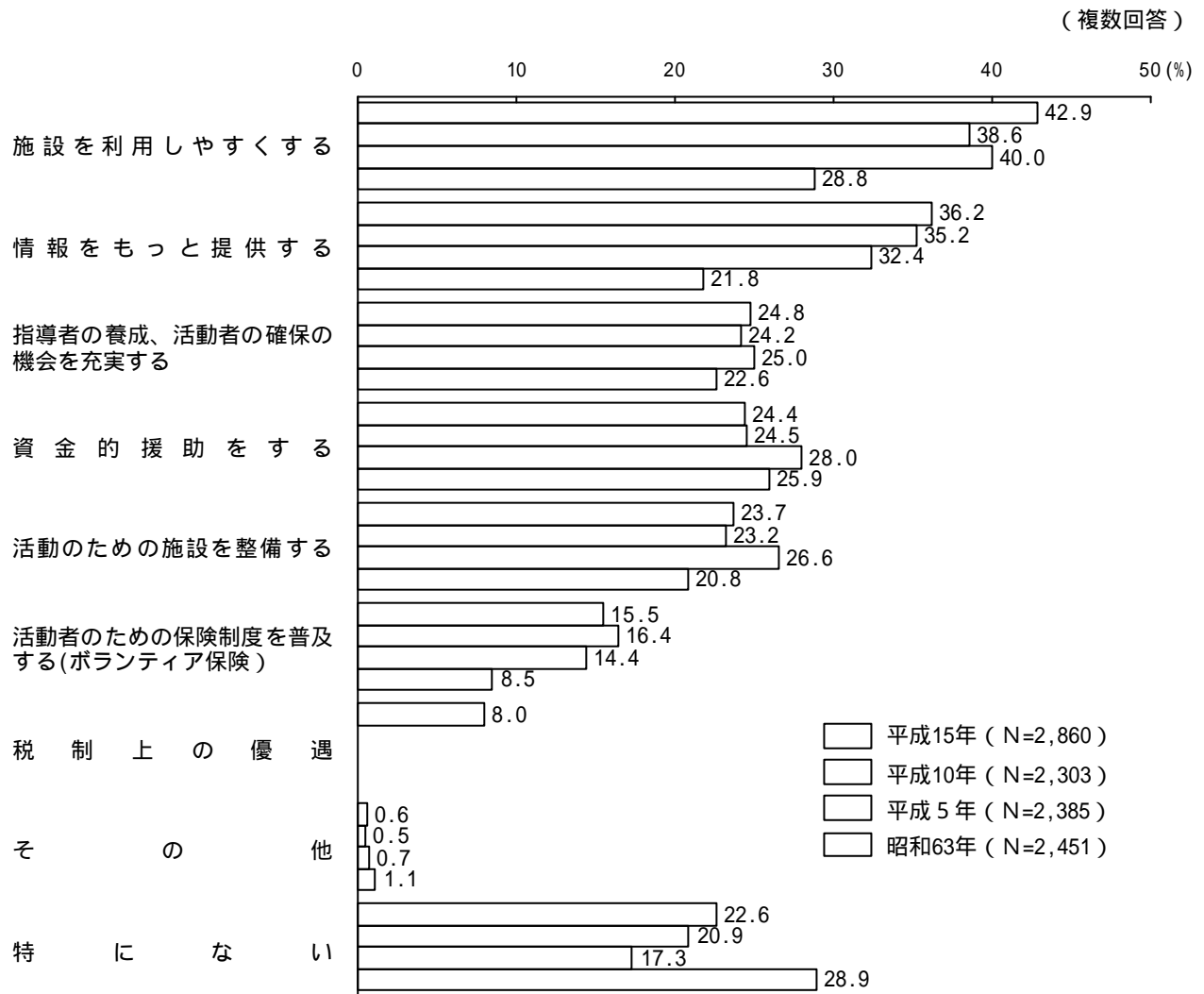
	総 数	な 直 接 協 力 ・ 援 助 は し	援 助 す べ き (小 計)	助 は、活 した、動 方、接、 が、定、 よ、着、 い、協、 力、す ・、る ま 援、で	助、も、活 した、動 方、接、 が、定、 よ、着、 い、協、 力、し ・、た 援、後	そ の 他	わ か ら な い
昭 和 63 年	1,082	8.7	60.1	30.6	29.5	0.5	30.7
平 成 5 年	2,385	8.8	71.4	36.4	35.0	0.4	19.4
平 成 10 年	2,303	8.9	69.1	37.7	31.4	0.2	21.8
総 数	2,860	8.9	67.3	37.0	30.3	0.2	23.5
〔 性 〕							
男 性	1,251	10.8	71.6	39.6	32.0	0.4	17.2
女 性	1,609	7.5	64.0	34.9	29.1	0.1	28.5
〔 年 齢 〕							
60 ～ 64 歳	693	10.0	74.5	41.1	33.3	0.3	15.3
65 ～ 69 歳	692	8.8	74.1	39.5	34.7	0.4	16.6
70 ～ 74 歳	650	8.2	67.4	40.3	27.1	0.2	24.3
75 ～ 79 歳	490	8.0	58.4	31.2	27.1	0.2	33.5
80 歳 以 上	335	9.9	51.3	25.1	26.3	-	38.8
(う ち 85 歳 以 上)	101	9.9	41.6	17.8	23.8	-	48.5
〔 都 市 規 模 〕							
大 都 市	553	13.2	64.7	38.2	26.6	0.2	21.9
中 都 市	976	8.4	69.4	36.9	32.5	0.2	22.0
小 都 市	588	8.2	65.0	35.4	29.6	0.2	26.7
町 村	743	7.0	68.4	37.4	31.0	0.4	24.2
〔 健 康 状 態 〕							
良 い (小 計)	1,523	8.4	73.3	41.2	32.2	0.3	18.0
良 い	802	9.1	75.2	44.4	30.8	0.4	15.3
ま あ 良 い	721	7.6	71.3	37.6	33.7	0.1	20.9
普 通	730	8.8	64.7	35.8	28.9	0.1	26.4
良 く な い (小 計)	607	10.4	55.4	27.8	27.5	0.3	33.9
あ ま り 良 く な い	504	10.9	58.3	30.2	28.2	0.4	30.4
良 く な い	103	7.8	40.8	16.5	24.3	-	51.5

(8) 高齢者が地域のための活動に参加する上での国・地方公共団体に対する要望 (Q21)

「高齢者が地域のための奉仕的な活動に参加する上で、国や地方公共団体に対する要望としては、どのようなことがあるか」についてみると、「施設を利用しやすくする」が 42.9%と最も高く、以下、「情報をもっと提供する」36.2%、「指導者の養成、活動者の確保の機会を充実する」24.8%、「資金的援助をする」24.4%、「活動のための施設を整備する」23.7%、「活動者のための保険制度を普及する」15.5%、「税制上の優遇」8.0%等の順となっている。なお、「特にない」は 22.6%となっている。

前 3 回の調査と比較すると、「情報をもっと提供する」は増加傾向となっている。また、前回調査(平成 10 年)と比較すると「施設を利用しやすくする」は 4.3 ポイント増加している。

図 21 高齢者が地域のための活動に参加する上での国・地方公共団体に対する要望 (Q21)



注) は調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。

性別にみると、「情報をもっと提供する」(男性 38.5% , 女性 34.4%) , 「指導者の養成、活動者の確保の機会を充実する」(男性 28.5% , 女性 21.8%) , 「資金的援助をする」(男性 27.9% , 女性 21.6%) , 「活動のための施設を整備する」(男性 26.9% , 21.3%) は男性の割合が高く、また、「特にない」(男性 17.3% , 26.7%) は女性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、具体的に要望を挙げている項目では、「60～64 歳以上」で割合が高くなっている。

表 21 高齢者が地域のための活動に参加する上での国・地方公共団体に対する要望(Q21)

(複数回答)

				総 数	情 報 を も っ と 提 供 す	実 情 の 確 保 の 機 会 を 充 満	指 導 者 の 養 成 、 活 動	施 設 を 利 用 し や す く	活 動 の た め の 施 設 を 整 備 す る	活 動 者 の た め の 保 険 制 度 を 普 及 す る	資 金 的 援 助 を す る	税 制 上 の 優 遇	そ の 他	特 に な い	計 (M.T.)
昭 和	63	年		2,451	21.8	22.6	28.8	20.8	8.5	25.9			1.1	28.9	158.5
平 成	5	年		2,385	32.4	25.0	40.0	26.6	14.4	28.0			0.7	17.3	184.3
平 成	10	年		2,303	35.2	24.2	38.6	23.2	16.4	24.5			0.5	20.9	183.5
総			数	2,860	36.2	24.8	42.9	23.7	15.5	24.4	8.0	0.6	22.6		198.6
〔 性 〕															
男		性		1,251	38.5	28.5	43.2	26.9	15.7	27.9	9.1	0.5	17.3		207.5
女		性		1,609	34.4	21.8	42.8	21.3	15.4	21.6	7.1	0.6	26.7		191.7
〔 年 齢 〕															
60	～	64	歳	693	45.5	29.4	51.5	26.7	19.2	30.2	10.5	0.3	12.1		225.4
65	～	69	歳	692	41.5	27.0	47.5	26.4	16.2	26.0	9.2	0.6	15.3		209.8
70	～	74	歳	650	33.8	22.5	39.5	23.8	16.2	23.8	7.4	0.8	24.3		192.2
75	～	79	歳	490	28.0	22.7	38.8	20.8	14.5	21.2	5.9	0.4	31.2		183.5
80	歳	以	上	335	22.7	17.9	28.4	16.1	6.6	14.6	4.2	0.9	43.3		154.6
(うち 85 歳 以上)				101	15.8	12.9	23.8	8.9	2.0	14.9	2.0	1.0	54.5		135.6

注) は調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。